

KOBELCO

テレスコピッククローラクレーン

TK550G

最大定格荷重

55t
×
30m

ブーム長さ: 10.0m~30.1m

TELESCOPIC CRAWLER CRANE

RISE to

基礎土木に耐える 頑丈な構造

従来機から継承した全段シリンダ伸縮の4段構成ブームは、基礎用途として鍛え抜かれた高剛性4プレート構造を採用。建方はもとより、オーガ、パイプロ、クラムセルといった基礎作業や、基礎相番機として活躍します。



ACTION



迅速な作業を 可能にする 輸送性・組立性

輸送性を考慮し、最小輸送幅2.99m、最小本体質量31.1tを実現。ブームの組立・分解が不要なテレスコピックブームは踏襲し、上位機種と操作方式を統一したカウンタウエイト自力脱着装置（オプション）に加え、新たにクローラ自力脱着装置（オプション）を設定。

狭所での 機動力に優れた コンパクトボディ

後端旋回半径3.7m。狭所進入時は、輸送幅と同じ機体幅2.99mを実現。
※クローラ縮小時の場合です。作業時はクローラを張り出してください。

湿式ウインチを採用

連続作業時でも安定したブレーキ力を発揮します。

排出ガス2014年規制対応エンジン

排出ガス後処理装置（SCR）搭載。

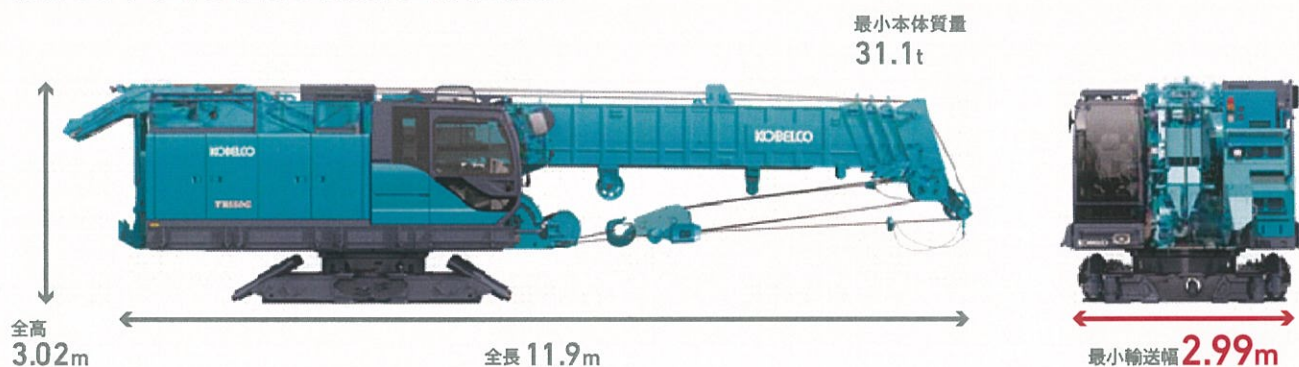
Transport & Assembly performance [輸送性・組立性]

実稼働時間を確保できる優れた輸送性・組立性。



NEW 輸送幅2.99mを実現。

輸送のしやすさを考えた寸法および質量設定



※写真は装着可能なオプションを含みます。寸法および質量は輸送時の最小値です。

NEW クローラ
自力脱着装置
(オプション)。

専用の吊天秤を使用して、クローラの自力脱着ができ、作業半径は最大で4.5mまで可能です。



クローラ拡張シリンダ。

シリンダを2つ搭載することで左右個別で伸縮可能になりました。

跳ね上げ式トランスリフタの採用。

従来機の脱着式から跳ね上げ式に変更したため、輸送時・作業時の取外しは不要になりました。

カウンタウエイト自力脱着装置(オプション)。

上位機種(TK750G/TK750GF5)と操作方式を統一。ウインチ操作と自力脱着アームの起伏操作で、カウンタウエイトを脱着できます。

NEW カウンタウエイト取付用ボルトの格納ブラケットを設定。

取付用ボルトを、カウンタウエイトのブラケットに格納した状態で保管し輸送可能。玉掛け作業の邪魔にならず、紛失の恐れもなくなります。

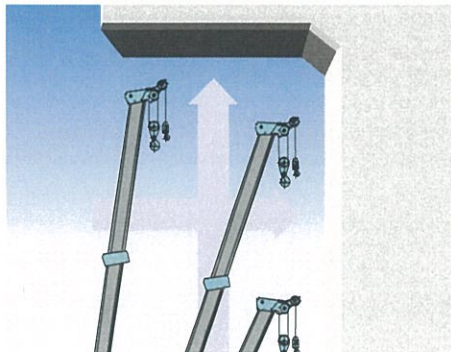
NEW 部品置場の設定。

ロワフレームに走行油圧配管、クローラフレームにステップなどの部品置場を設置したことで、輸送時や組立・分解時の利便性を向上させました。

High safety & Comfortable performance [安全性・快適性]

オペレータにゆとりと安心を与える安全性・快適性。

接触などを未然に防ぐ作業範囲制限装置。



ブーム角度(上限/下限)、ブームトップ高さ、作業半径をあらかじめ設定することで、ブームの作動範囲を制限できます。設定位置に近づくとき警報音が知らせ自動停止。ホイールクレーンで実績豊富な信頼高い機能です。接触を防止するだけでなく、繰り返し作業の効率アップにも使えます。

誤作動を防ぐエンジン始動時安全機能。

操作レバーが入った状態でエンジンを掛けてしまっても、マシンのすべての作動部が動かない安全設計。レバーを一度中立に戻して初めて操作が可能になります。

3重配慮でフリーフォールの誤作動を防止。

フリーフォール切替スイッチ、解除キーが必要なフリーフォールロック機能、フリーフォールインタロックと、3つの手順を踏んではじめて自由降下作業が行えます。

※操作ミスなどによるつり荷の落下を防ぐため、クレーン作業では自由降下(フリーフォール)作業は行わないでください。

クローラ張出確認スイッチを標準装備。

クローラ縮小時のブームや旋回誤操作による転倒を防止。過負荷防止装置に荷重表示されないクローラ格納モードの状態から、張出確認スイッチを確認側に2秒以上倒すと、クローラ張出モードに変わり、再確認を音声で促します。

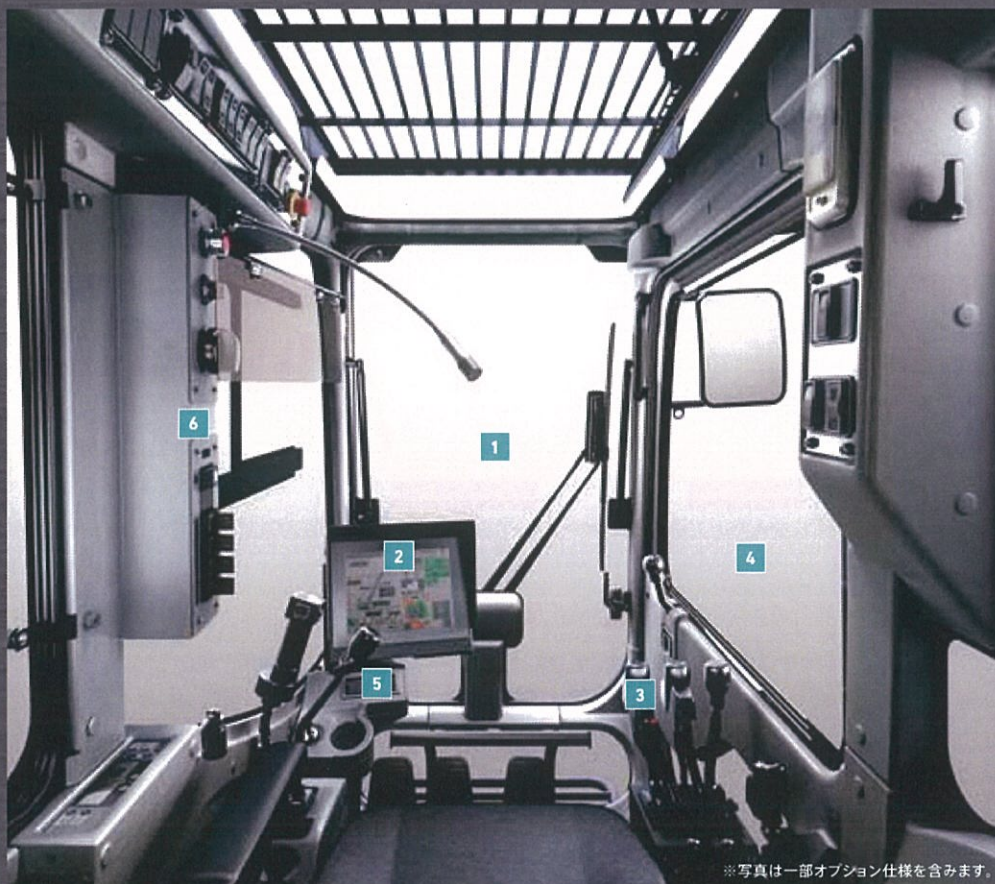
万一のマシントラブルを早期発見。

マルチディスプレイの液晶表示部は、燃料、作動油、冷却水などに関する16項目の異常表示機能と、電磁弁やセンサ類など電気系トラブルを全41項目にわたり自己診断表示する機能を装備しています。

各種監視カメラをオプション設定。

乱巻きなどのアクシデントの早期発見に役立つドラム監視カメラを主補ともに、さらに周辺作業者の安全確保に貢献する各種監視カメラを用意しています。見やすく操作しやすいモニタ画面ですばやく確認できます。

広さにゆとりのキャブ空間。



1 快適な作業環境/ゆとりあるキャブ(3.10㎡)と広い視野(1.09㎡)で快適な作業環境を実現しました。乗り心地も良く、視野範囲が広くなり、安全性・作業性が高まります。

2 MLモニタ/見えにくい角度も、鮮明な画質で確認可能となり、作業の安全性向上につながります。可動式で好みの角度に調整でき、各種の確認や指示もスムーズになります。

3 ショートレバー/握りやすく手にフィットするグリップで、旋回やブーム起伏などをスムーズに行うことができ、機動力ある運転性能を実現します。

4 広いキャブ開口部/キャブ開口部が広いこと(785mm)、乗降りの際の負担を少なくし、作業に快適性をもたらします。

5 エアコン吹き出し口/MLモニタ下にエアコン吹き出し口を追加したことでキャブ内の快適性が向上します。

6 基礎用オプションスイッチ/1ヶ所に集約しました。

クレーン遠隔稼働管理システム「KCROSS」搭載。

KCROSS

※写真は一部オプション仕様を含みます。

Work performance [作業性能]

高い安定性が支えるクレーンとしての基本能力。

クレーンとしての高い作業能力を装備。

■最大定格総荷重

55t×3.0m

■一本掛能力

49.0kN {5.0tf}

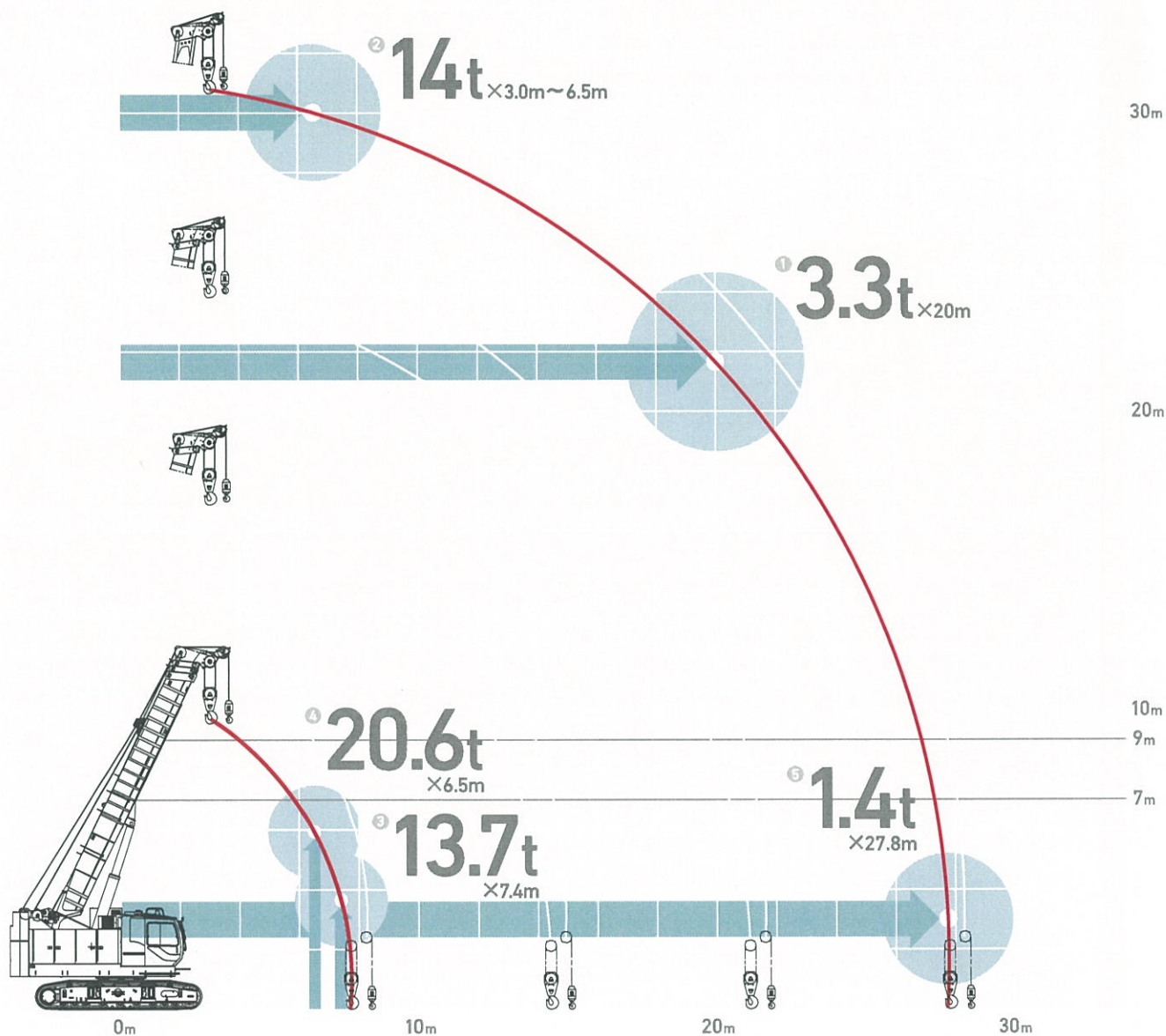
■最大地上揚程

30.9m

スピーディな巻き上げを実現(主巻・捕巻とも)。

■最大ロープ速度

120m/min(1層目)



つり荷作業で実用的な高い能力。

クレーン作業で頻繁に使う作業半径20mの能力は3.3トン。また最長ブームでの最大定格荷重14トンを半径6.5mまでキープしています。

■作業半径20mでのつり上げ能力(4段)

① 3.3t

■14トンつれる最大作業半径(4段)

② 6.5m

全高制限のある現場で高いつり能力を発揮。

ウインチ配置に工夫を加えブームフット部を後方ヘレイアウトするなど、従来機の特徴を継承し、高架下などの高さ制限のある場所でも大きなつり上げ能力を誇ります。

■高さ制限7m時

③ 13.7t×7.4m

■高さ制限9m時

④ 20.6t×6.5m

高い安定性により、広い作業領域を確保。

⑤ 最大作業半径は27.8mで、1.4トンのつり上げ能力を発揮。また、最長ブーム時の最小作業半径は3.0mです。

中間カウンタウエイト時の定格総荷重を設定(オプション)。

都市土木工事で活躍する コンパクトなボディ。

後端旋回半径3.7m(従来機比0.1m短縮)を実現し、狭所作業性が向上。また、クローラ縮小時の機体幅が最短2.99mとなり、より狭い現場に入ることができるようになりました。*



後端旋回半径
3.7m
(従来機比0.1m短縮)



クローラ縮小時
2.99m

※作業時はクローラを張り出してください。
クローラ縮小状態での作業は行えません。

基礎工事に適した湿式ウインチ搭載。

TK550Gのドラムは主巻、補巻、サード(オプション)はすべてΦ18mm径ワイヤロープが23列巻き取れる溝付き幅広大容量タイプ。このウインチは、連続作業時でも安定してブレーキ力を発揮する強制油冷式の湿式ディスクブレーキ内蔵タイプです。メンテナンスフリーのため、ランニングコストも低減します。

雑用ウインチの設定(オプション)。

オーガ作業など、基礎土木工事における補助作業で活躍します。



アクセス性向上および メンテナンス時の負荷を軽減。

機械乗降時やメンテナンス時に使用する手すりを増設することでアクセス性が向上したほか、旋回ベアリングや主補ウインチ関連の給脂口を手前に持ってくることで、日頃のメンテナンスが容易になりました。

大容量油圧源ポンプの設定 (オプション)。

従来機より圧力・流量ともにアップした大容量油圧源ポンプを設定しました。この大容量油圧源取り出しにより、余裕のあるオーガ作業が可能です。

排出ガス2014年規制対応
エンジン(申請中)
207kW/281PSの高出力エンジン。
排出ガス後処理装置(SCR)搭載。



別置き工具箱の設定。

必要工具や小物部品などを収納できる便利な別置き工具箱を設定しました。

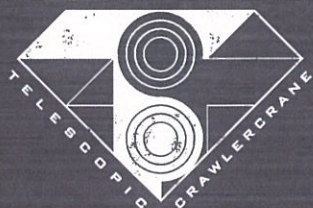


低騒音型建設機械の 基準値をクリア。

国土交通省の低騒音型建設機械に申請中。



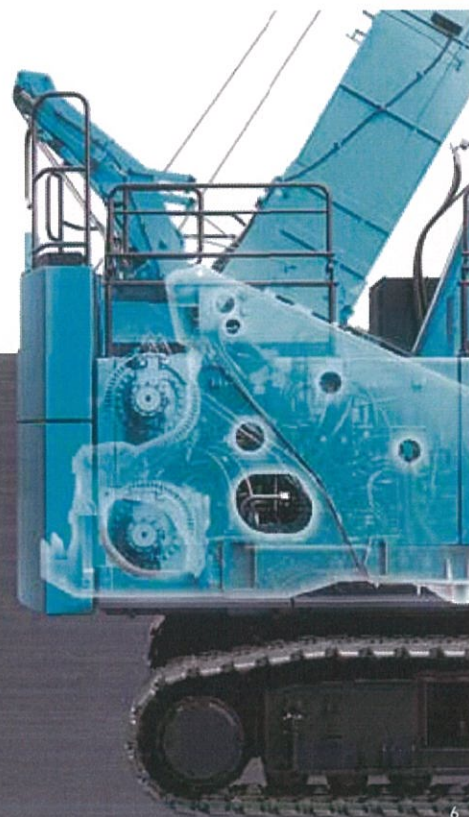
THE ORIGIN
TOUGHTELES



Toughtelesはウインチ配置と高強度構造物による、コンパクトで頑丈なTKシリーズの独自技術を表しています。

主補ウインチの後端 上下配置による 後端コンパクト化を実現。

独自のフレーム構造とウインチ上下配置(特許)により、コンパクトな後端旋回半径を実現。また、サードウインチ(オプション)を搭載しても旋回後端半径はそのままのサード前置きレイアウトを採用。サードドラムを目視することが可能です。



TK550G

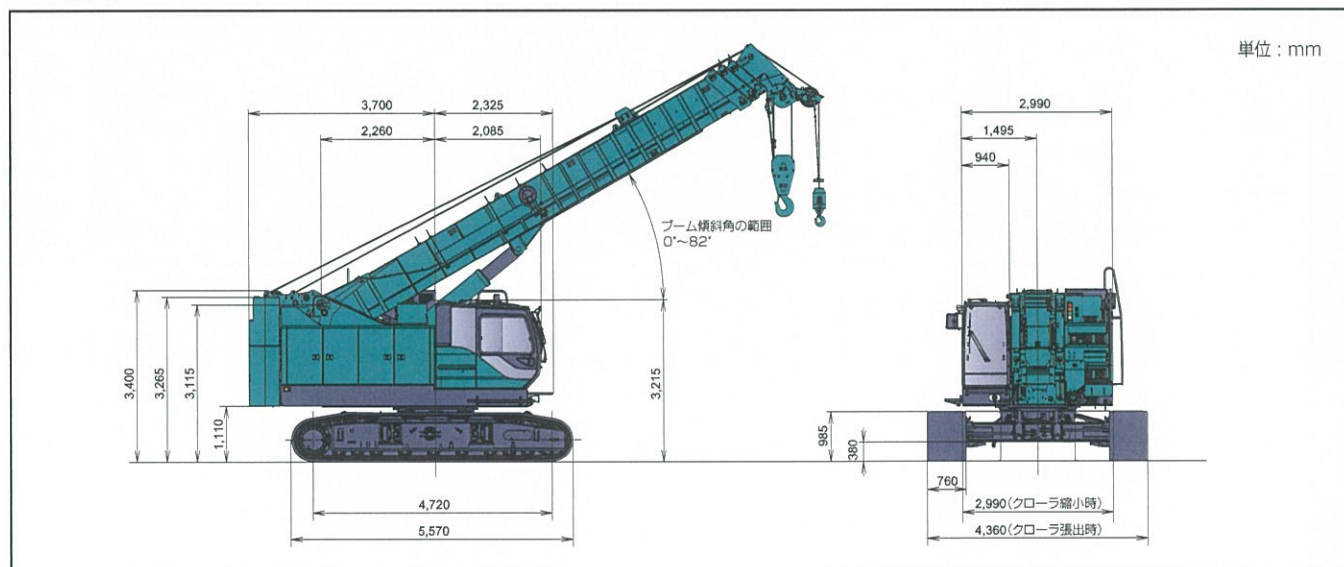
テレスコピックローラークレーン

■主要諸元

項目	仕様	TK550G
最大定格総荷重	10.0mブーム	t×m
	16.7mブーム	t×m
	23.4mブーム	t×m
	30.1mブーム	t×m
	補助シーブ(最大)	t
ブーム長さ	m	10.0~30.1
主フック最大地上揚程	m	30.9
主フック最大作業半径	m	27.8
巻上ロープ速度	主巻	m/min
	補巻	m/min
	サード	m/min
ブーム伸長速度	sec/m	120/20.1
ブーム上げ速度	sec/度	64/0~82
旋回速度	min ⁻¹ {rpm}	2.3{2.3}
走行速度	km/h	1.7/1.2(高低速切替式)
作業時質量(標準仕様+55tフック+ボールフック)	t	55.8
平均接地圧(標準仕様+55tフック+ボールフック)	kPa{kgf/cm ² }	75.5{0.77}
登坂能力	%(度)	30(16.4)
エンジン	名称	Daimler OM936LA(MTU 6R1000)ディーゼルエンジン
	定格出力	kW/min ⁻¹ {PS/rpm}
ワイヤロープ	主巻	mm×m
	補巻	mm×m
	サード	mm×m

登坂能力は最大登坂時の傾斜角度であり、地盤の状態やクレーンによってはこの数値より低くなります。各速度は軽負荷の時の値であり、負荷により速度の変動があります。各ロープ速度はドラム1層目での値です。単位は国際単位系のSI単位で〔 〕内は従来表示です。

■全体図



- つり上げ荷重5t以上の移動式クレーン運転には「移動式クレーン運転士免許証」、クラムセル作業には「車両系建設機械(整地ほか)運転技能講習修了証」、基礎工事には「車両系建設機械(基礎用)運転技能講習修了証」がそれぞれ必要です。
- 本カタログで使用する標章「KOBELCO」は、株式会社神戸製鋼所の登録商標です。また、その他、当社商品名、サービス名およびロゴマークは、コベルコ建機株式会社の商標または登録商標です。その他の会社名やロゴマーク、商品名、サービス名は、各社の商標、登録商標もしくは商号です。
- 掲載写真・記載内容にはオプション品が含まれています。

コベルコ建機株式会社

www.kobelco-kenki.co.jp

東京本社 / 〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15 Tel:03-5789-2111

■ クレーンの販売・サービス拠点

北海道 Tel:011-788-2386 / 宮城 Tel:0223-24-1482
 横浜 Tel:045-834-9992 / 北陸 Tel:076-274-1218
 東海 Tel:052-603-1205 / 近畿 Tel:06-6414-2103
 中国 Tel:082-810-3880 / 九州 Tel:092-410-3035

■ お問い合わせは…



TK550G

型式名 TK550G

テレスコピッククローラクレーン

最大定格総荷重55t×3.0m

▶ 主要諸元	1
▶ 全体図	2
▶ 作動範囲図	3
▶ 定格総荷重	4
▶ 各部寸法、質量	6
▶ 標準装備品	11
▶ オプション装備品	11

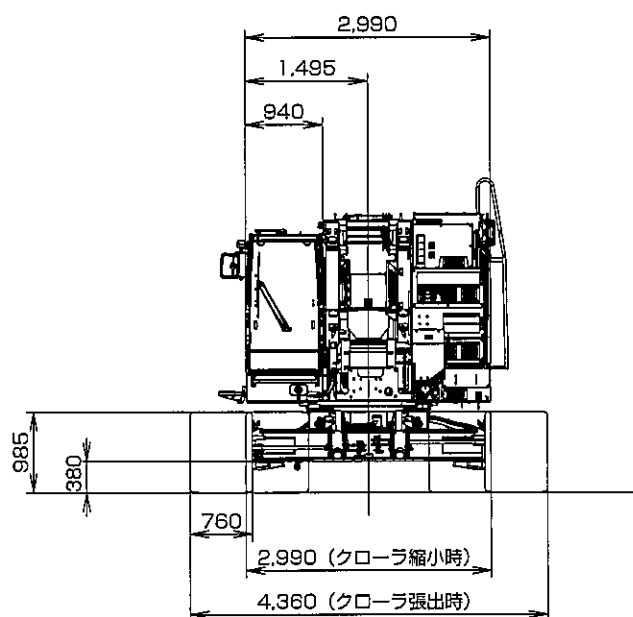
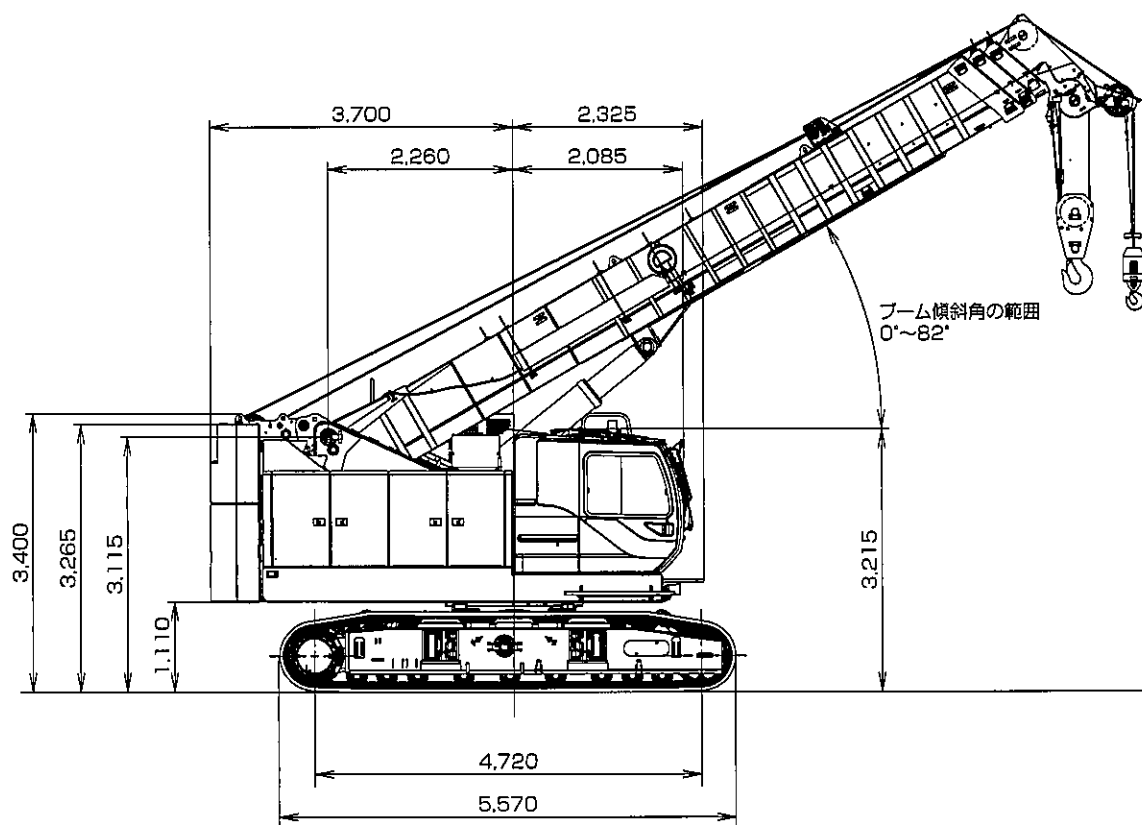
KOBELCO

主要諸元

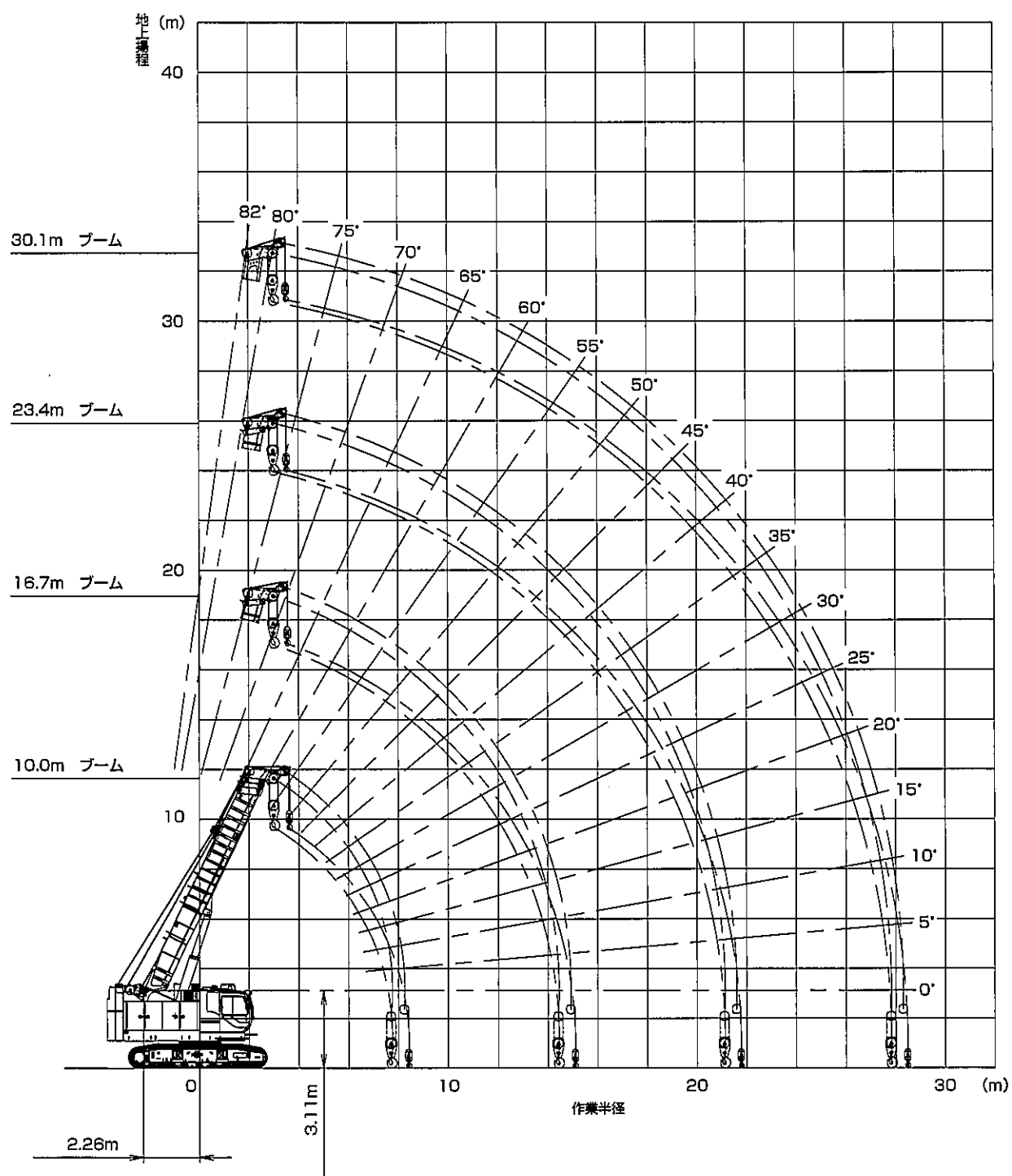
型式			TK550G
●質量			
全装備質量 (標準仕様)	t		55.3
作業時質量 (標準仕様時+55tフック+ボールフック付)	t		55.8
●クレーン部主要諸元			
最大定格総荷重	10.0mブーム	t×m	55.0×3.0 (12本掛)
	16.7mブーム	t×m	28.0×5.0 (6本掛)
	23.4mブーム	t×m	22.0×6.0 (5本掛)
	30.1mブーム	t×m	14.0×6.5 (4本掛)
	補助シーブ	t	5.0 (1本掛)
ブーム長さ	m		10.0~30.1
主フック最大地上揚程	m		30.9
主フック最大作業半径	m		27.8
ロープ速度	主巻	m/min	120 (1層目)
	補巻	m/min	120 (1層目)
	サード	m/min	120 (1層目)
ブーム伸長速度	sec/m		120/20.1
ブーム上げ速度	sec/度		64/0~82
平均接地圧 (標準仕様時+55tフック+ボールフック付)	kPa (kgf/cm²)		75.5 {0.77}
旋回速度	min ⁻¹ (rpm)		2.3 {2.3}
主ブーム形式	箱型4段式、2・3段同時、4段単独伸縮		
ブーム起伏装置	複動油圧シリンダ直押式 (1本)		
ブーム伸縮装置	複動油圧シリンダ直押式 (3本)		
巻上装置	独立ウィンチ2基+サードウィンチ1基 減速機内蔵ディスク式+モータ内蔵ディスク式 (スプリングセット油圧解放ディスク式) フットブレーキ (ポジブレーキ) およびスプリングセット油圧解放式ネガブレーキ レバー中立で自動ブレーキまたはフリーフォールいずれの運転方式も選択可能		
旋回装置	油圧モータ駆動遊星歯車減速式、ブレーキ付 旋回中立フリー方式		
●ワイヤロープ			
主巻	mm×m		φ18×180 IWRC6×WS (26) C/O
補巻	mm×m		φ18×80 IWRC6×WS (26) C/O
サード	mm×m		φ18×80 IWRC6×WS (26) C/O
●油圧装置			
油圧ポンプ形式	4連 (可変プランジャ2+ギヤ2) + 4連 (可変プランジャ2+ギヤ2)		
作動油量	ℓ		680
●上部旋回体			
エンジン	型式	Daimler OM936LA (MTU 6R1000) ディーゼルエンジン	
	種類	水冷直列6気筒インタクーラターボ付直接噴射式ディーゼル	
	総排気量	ℓ	7.697
	定格出力	kW/min ⁻¹ (PS/rpm)	207/2,000 {281/2,000}
	最大トルク	N・m/min ⁻¹	1,150/1,200~1,600
燃料タンク	ℓ		400
バッテリー	V		24 (12V×2個直接接続)
尿素水タンク	ℓ		40
●下部走行体			
走行装置	油圧モータ駆動、遊星減速、動輪直結式、履帯内収納型採用		
走行速度	km/h		1.7/1.2 (高低速切替式)
登坂能力	% (度)		30 (16.4)

単位は国際単位系のSI単位で、{ } 内は従来表示です。

■ 全体図 (単位:mm)



▶ 作動範囲図 (単位: m)



■ 定格総荷重

■ 注意事項

- (1) 定格総荷重は、水平堅土上において機体を水平に設置した状態で転倒荷重の78%を超えない値に基づくものであり、かつ、移動式クレーン構造規格第14条における前方安定度も満足する値で、フックその他のつり具等の質量を含んだ値です。

□ の部分は機械の強度によって定められ、他は機械の安定によって定められています。

フックの種類	55t	25t	5t	5t 軽量
質量	400kg	300kg	90kg	40kg

- (2) 定格総荷重をつる場合にも風の影響、地盤の状態、作業速度、その他安全に有害な状況がある時は、オペレータは荷重の軽減、作業速度を遅くするなど状況に応じた判断をする責任があります。

- (3) 作業半径とは、クレーン旋回中心よりつり上げ荷重の重心までの水平距離を意味します。

作業半径はブームのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。

- (4) クレーン作業中は必ずクローラフレームを規定位置まで張出してください。

- (5) 補助シーブの定格総荷重は、ブーム長さ10.0mから16.7mまでのブーム長さにおいては、ブームの定格総荷重より55tフックの質量(400kg)、16.7mを超え最長ブーム長さにおいては、ブームの定格総荷重より25tフックの質量(300kg)を差し引いた値と等しくかつ限度を5,000kgとします。

- (6) サード巻つり(オプション)の定格総荷重は、ブームの定格総荷重を適用します。

- (7) ブームの長さが規定の長さを越える場合には、規定の長さか1段上のブーム長さのいずれか、小さい方の定格総荷重で作業を行ってください。

- (8) 定格総荷重表において空欄となっている部分では作業を行うことはできません。

(最小ブーム角度以下に倒しますと無負荷で転倒することもありますので、充分注意してください。)

- (9) 主巻つりの主フックの最小巻掛本数は、ワイヤロープ1本当たり5,000kgを超えない範囲で決定しますが、各ブーム長さに対する標準巻掛本数は下記の通りです。

ブーム長さ	10.0m	16.7m	23.4m	30.1m
使用フック	55t フック		25t フック	
巻 掛 数	12	6	5	4

- (10) サード巻つり(オプション)の主フック最小巻掛本数は、ワイヤロープ1本当たり5,000kgを超えない範囲で決定しますが、各ブーム長さに対する標準巻掛本数は下記の通りです。

ブーム長さ	10.0m
使用フック	25t フック
巻 掛 数	5

- (11) 操作ミスなどによるつり荷の落下を防ぐため、クレーン作業では自由落下作業は行わないでください。

■ 定格総荷重表 (13.5t ウェイト)

(単位: t)

作業半径 (m)	ブーム長さ (m)	10.0	16.7	23.4	30.1	ブーム長さ (m)	作業半径 (m)
3.0		55.0	28.0	22.0	14.0		3.0
3.5		50.0	28.0	22.0	14.0		3.5
4.0		42.5	28.0	22.0	14.0		4.0
4.5		36.5	28.0	22.0	14.0		4.5
5.0		31.7	28.0	22.0	14.0		5.0
5.5		26.9	26.7	22.0	14.0		5.5
6.0		23.4	23.1	22.0	14.0		6.0
6.5		20.6	20.3	20.2	14.0		6.5
7.0		18.3	18.0	17.9	13.5		7.0
7.5		12.5	16.2	16.0	13.0		7.5
7.7		11.9	15.5	15.4	12.8		7.7
8.0			14.6	14.5	12.5		8.0
8.5			13.3	13.2	12.0		8.5
9.0			12.3	12.0	11.5		9.0
9.5			11.3	11.0	11.0		9.5
10.0			10.4	10.2	10.7		10.0
11.0			9.0	8.7	9.2		11.0
12.0			7.8	7.6	8.1		12.0
13.0			6.8	6.6	7.1		13.0
14.0			6.0	5.8	6.3		14.0
14.4			5.6	5.5	6.0		14.4
15.0				5.1	5.6		15.0
16.0				4.6	5.0		16.0
17.0				4.1	4.5		17.0
18.0				3.7	4.1		18.0
19.0				3.3	3.7		19.0
20.0				2.9	3.3		20.0
21.1				2.5	3.0		21.1
22.0					2.8		22.0
24.0					2.2		24.0
26.0					1.8		26.0
27.8					1.4		27.8
最大ブーム角度		64.2°	75.2°	79.5°	81.9°		最大ブーム角度
最小ブーム角度		0°	0°	0°	0°		最小ブーム角度

※表中の太線で囲まれた部分は、ブーム等の強度によって定められた値です。

■ 定格総荷重表 (8.0t ウェイト) (オプション)

(単位: t)

作業半径 (m)	ブーム長さ (m)	10.0	16.7	23.4	30.1	ブーム長さ (m)	作業半径 (m)
3.0		55.0	28.0	22.0	14.0		3.0
3.5		50.0	28.0	22.0	14.0		3.5
4.0		40.5	28.0	22.0	14.0		4.0
4.5		32.3	28.0	22.0	14.0		4.5
5.0		26.7	26.5	22.0	14.0		5.0
5.5		22.7	22.4	22.0	14.0		5.5
6.0		19.6	19.4	19.2	14.0		6.0
6.5		17.2	17.0	16.8	14.0		6.5
7.0		15.3	15.0	14.9	13.5		7.0
7.5		12.5	13.4	13.2	13.0		7.5
7.7		11.9	12.8	12.7	12.8		7.7
8.0			12.1	11.9	12.5		8.0
8.5			11.0	10.8	11.4		8.5
9.0			10.0	9.8	10.4		9.0
9.5			9.1	9.0	9.5		9.5
10.0			8.4	8.2	8.8		10.0
11.0			7.2	7.0	7.5		11.0
12.0			6.2	6.0	6.5		12.0
13.0			5.4	5.2	5.7		13.0
14.0			4.7	4.5	5.0		14.0
14.4			4.4	4.3	4.7		14.4
15.0				4.0	4.4		15.0
16.0				3.5	3.9		16.0
17.0				3.0	3.5		17.0
18.0				2.6	3.1		18.0
19.0				2.3	2.8		19.0
20.0				1.9	2.5		20.0
21.1				1.6	2.1		21.1
22.0					1.9		22.0
24.0					1.4		24.0
26.0					1.0		26.0
27.8					0.7		27.8
最大ブーム角度		64.2°	75.2°	79.5°	81.9°		最大ブーム角度
最小ブーム角度		0°	0°	0°	0°		最小ブーム角度

※表中の太線で囲まれた部分は、ブーム等の強度によって定められた値です。

■ 定格総荷重表 (ウェイトなし) (オプション)

(単位: t)

作業半径 (m)	ブーム長さ (m)	10.0	16.7	ブーム長さ (m)	作業半径 (m)
3.0		18.0	18.0		3.0
3.5		18.0	18.0		3.5
4.0		18.0	18.0		4.0
4.5		18.0	18.0		4.5
5.0		16.3	16.1		5.0
5.5		13.7	13.5		5.5
6.0		11.7	11.5		6.0
6.5		10.2	9.9		6.5
7.0		8.9	8.7		7.0
7.5		7.9	7.6		7.5
7.7		7.5	7.3		7.7
8.0			6.8		8.0
8.5			6.0		8.5
9.0			5.4		9.0
9.5			4.8		9.5
10.0			4.4		10.0
11.0			3.6		11.0
12.0			3.0		12.0
13.0			2.4		13.0
14.0			1.9		14.0
14.4			1.7		14.4
最大ブーム角度		64.2°	75.2°		最大ブーム角度
最小ブーム角度		0°	0°		最小ブーム角度